

番号	49	名称	堀留橋
指定日	平成 19 年 3 月 28 日	所在地	飯田橋二丁目～西神田三丁目（日本橋川）
設計者		竣工	大正 15 年（1926）8 月



歴史・文化的特徴

江戸中期から明治 36 年（1903）まで外濠の堀留であった場所にあたり、橋名にその由来をとどめている。

震災復興橋梁である。

意匠・構造の特徴

石造風の簡素だが力強いデザインのコンクリートアーチ橋である。

石造風の親柱、高欄等が特徴的なデザインである。

周辺景観との関係

歩行者の視点からは石造風の親柱や高欄が目に入る。

橋上は首都高速高架のため圧迫感があり、眺望はあまりよくない。

橋詰の小公園など周辺から橋梁の全景を見る事ができるが、高架が視界を遮っている。

橋詰にある児童遊園が水辺の緑地景観を形成している。